

# キックオフシンポジウム開催のご報告

「卒前・卒後一貫 MD-PhD コース」キックオフシンポジウムが、平成25年2月13日(水)16時から、群馬大学医学部アメニティー講義室(アメニティーモール2階)で開催されました。



シンポジウムは、和泉孝志医学系研究科長の開会の言葉で始まり、続いて石崎泰樹医学系研究科医科学専攻教務委員長による、本学 MD-PhD コースの現況報告と、卒前・卒後一貫 MD-PhD コースの取り組みについて講演がありました。



さらに、招聘講演として Duke-NUS Graduate Medical School Singapore の Shirish Shenolikar 教授による「Training PhDs and MD/PhDs for the 21<sup>st</sup> Century」と題した講演があり、講演後の質疑応答は大幅に時間をオーバーして活発なものでした。

そして、Harvard-MIT MD-PhD Program の大学院生である Erin Loeliger さんによる「私が Harvard 大学の MD-PhD コースを選んだ理由」をテーマにした講演が行われ、世界有数の優秀校の現役学生の話は大変興味深く、多くの聴衆をひきつけました。



最後に、外部評価者の講評として岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 松井秀樹教授からユーモアを交えたお話があり終始和やかな雰囲気の中で行われたシンポジウムの締めくくりとなりました。

シンポジウム終了後は、場所を学内の石井ホールに移して情報交換会が行われ、お招きした3名の方々との交流を深め、大変有意義な時間を過ごしました。



なお、本シンポジウムに先立ち、Duke-NUS Graduate Medical School Singapore の Shirish Shenolikar 教授が、12日午後、本学の高田 邦昭学長を表敬訪問しました。



(前列左より、高田 邦昭学長、Shirish Shenolikar 教授、竹内 利行副学長、後列左より、鯉淵 典之医学系研究科生命医科学専攻教務委員長、石崎 泰樹医学系研究科医科学専攻教務委員長)

また、今回のシンポジウムのために来日した Erin さんも、シンポジウムの前日12日に学生向けセミナーや本学の見学等を行いました。本学の学部生とも活発な意見交換を行い、大いに友好を深め、今後に向けた協力関係が築られました。(終)

